

「 豚汁のあたたかい味 」

校長 千葉 裕 (ちば ひろし)

新年明けましておめでとうございます。

7日(木)の始業式から子どもたちは一回り大きくなった心身で今日も学校生活を元気に頑張っています。始業式では、「**努力できることが才能である!**」という言葉を紹介し、努力することには「毎日工夫すること」と「毎日よいことを続けること」の2つの内容があることをお話ししました。この言葉は、画家の^{はざまいのすけ}裕伊之助氏の言葉で、元巨人軍の松井秀喜選手のお父さんが幼い兄弟に教え、以後松井選手は自分の部屋に貼り、座右の銘にしたことで知られています。私も大好きな言葉です。ご家庭でも学校日より1月号で書かせていただきました「基礎学力の向上」～家庭での学習習慣を確立すること～とあわせて子どもたちに再度、お話ししていただければ幸いです。

さて、本校の特色は、学校・保護者・地域が強固に連携して子どもたちを教育している点にあることは、色々な機会にお伝えしている通りです。そのひとつに青少年育成西浦和地区会が主催してくださっている「新春お楽しみ大会」があります。今年も9日(土)に盛大に実施していただきました。工夫を凝らしたゲームやスタンプラリー、そして、子どもたちが毎年楽しみにしている豚汁とおにぎりは、冬の晴天下でいただくと格別の味です。私は、初めてこの豚汁をいただいた時に、今まで食べたことのある豚汁とは一味も二味も異なることを育成会の皆さんにお伝えしていました。なぜ、このような「あたたかい味」がするのか? それは、新春お楽しみ大会には、育成会の皆さんは勿論のこと、各自治会の皆さんやPTAの皆さんが「子どもたちの為」を合言葉に長い期間、ご準備いただき、当日も早朝よりご参集され、準備してくださっている、そんなご労苦の一つひとつが、豚汁を口に運ぶ一箸ごとに思い起こされるからだと分かりました。「感謝と連帯感」が、豚汁の味をより一層引き立ててくれているのです。



西浦和小は、子どもたちが「感謝の心」を学ぶ“生きた教材”に溢れています。

それは、青少年育成西浦和地区会をはじめとする地域の皆様、PTAの保護者の皆様の大きな愛情と行動です。そして、教職員も皆様と同様、子どもたちを愛し、信念をもって教育活動を推進してまいります。今年も3者が固く連携を図り「西小愛」を紡いでまいりましょう!

今年は申年です。申年は「伸びる、成熟する」年とされています。本校の全ての子どもたちが、猿が手を伸ばして、木々を飛び移るが如く「目標」という目的地へ勢いよく進むことができますように!!
☆今年も宜しく願いいたします。

平成28年1月12日(火)